諸事御留

第三十八

内閣文庫
和書
類 三一八二
號
七一
冊
一八〇函
二三架
(八十三冊)

内閣文庫
番號 和 3182
冊數 71 (38
函號 180 128

国立公文書館
National Archives of Japan

諸雷伺之留

第三十八

内閣文庫
三一八二
和書
七一
一八〇
二三架

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

寛永十辰年

上

一紙ノ老ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]年源七郎ノ[illegible]年

[illegible]年ニ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]義[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

[illegible]ノ[illegible]又[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

公方様　大御所様ニ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

一紙之内ノ上ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

以使者申渡之

正月六日　　熱田千三郎

毎札

一乃国へ通ル

右長六月十三日右通ル造敷

公方様へ

九

二端一荷

一端一荷

一端一荷

一端一荷

公方様へ

御使者

大網元極
御小袖一箱
御簾中極
[illegible]子紙一巻
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]元
[illegible]
[illegible]元
同二枚元
同二枚元
同二拾枚

[illegible]
御簾中
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大網会所出府
浪之枚元
同二枚元
丁ニ拾枚
十五　撫しく蒙恵こと通知猶中会
十箇中山形之
八月
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十箇通雪　三百十箇拾壱殿之下郡日付記
寛文二年　寛永八年例之会

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

正月

右正月十三日右近将監殿ゟ以使ニ而御目通上之
左右近将監殿御病気ニ付御使被遣候ニ付右之
寅　平殿より書翰遣之候別紙上ル写
山形方ニ而松平阿波守ニ而御同人ゟ遣之
奥書

松平大隅守
右者御発駕之刻御祝儀御七日
公方様　大納言様ニ献上物使者以御
御内々御年頭御祝儀申上候御
忠以当献上之儀御聞済之上
松平薩摩守内
伊集院源太夫
正月八日
手紙
明後十三日之御事ニ而
右辰正月八日右近将監殿江差出し候写

[illegible]
十一日迄出発様十二日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]十二日[illegible]
大御[illegible]出[illegible]文[illegible]　[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]月十九日

[illegible]

[illegible]
[illegible]十九日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

平和法印之正印礼ニ成候ハヽ可申聞候
年用ハ不之

正月十六日　　松平丹後守内
　　河村今之丞

右ハ正月十六日丹後守殿ヘ上ル高ハ千俵
御渡ハ大方明見公

明後十九日　松平妻光　城社殿退出
上洛松平礼ニ成候ハヽ可申聞候

正月廿六日　　松平伯耆守

正月廿七日　　松平伯耆守

月黄しかた中個馬ヲ以て可申聞

明後十九日松平伯耆守妻光
城社殿丹後守平和法印
正礼ニ成候ハヽ可申聞候

正月十七日　　松平丹後守内
　　河村今之丞

舟丸
使丸義載以振一件

別書

一 去ル廿四日松平伯耆守妻大奥ヘ年始
出 城使長出仕同性丹後守左右
使者左近丸同番堀田相模守横
田甚兵衛ヘ出仕番頭中横ヘ形文
秋元但馬守横ヘ使丸中上ル

一 伯耆守使ヲ以左近丸使者ヲ以右丸使
相模守横ヘ相同ル使丸中上ル
右之通ニ仕候

卯月十七日

松平丹後守
江戸留守居

右義相調有之通ヲ以御届申上ル

一 丹後守方ヨリ来ル廿日朝日松平伯耆守
妻死 城同性丸義書状ヲ以使丸

一 京大坂 御殿等御設ケ之儀ハ大変
而し巡見の仕成事
一 例年し通南部ヶ嶋ハ我巡見可
仕成し事
一 教学年し学ハ左勤し日限うゝ上
成し事
一 先格し通蝦夷東海道ハ我領系し長
本当御ケ之儀ハ長崎ハ貞又右衛門
節同様ハ英吉し儀ハ長崎又同し通海系し長
英し三ヶ年勤ハ
右し通年限ハ以外し儀先格し通
お勤ハ十年勤ハ以上

正月十八日

宝暦源七郎
山崎治郎兵衛

分れ
先格し通ハ

右伝聞ヲ以テ上ル

元

松平越前守家来ヨリ勤仕ノ者伏見ヨリ
京都ニ立廻ル義
公方様　大御所様ノ機嫌ヨシ上洞ノ義ニ
付用度金ニ用又播磨守殿中ニ
伝聞ヲ以テ京ニ対面仕度
旨ニ付

右伝聞ヲ以テ御用ノ儀ニ付
十二月廿四日　松平左京亮

付札

京都ニ立寄ル者ハ一切勝手ニ
相成申ニ立寄ル儀ニ成ル
井上河内守ヨリ右同様ニ
て申越ル

右伝聞ヲ以テ当日右通ノ御答ヲ不申付札渡ス

永久疾差寒候に成候ハ、方便ニ成候ハ、以上
金投出勤も仕度奥加月次出仕義
差免ハ、板倉氏名代ニ勤仕候
事ハ、も仕り合ニ保養ニ成候 有
藤法清ハ医師教示通玄ト申者
為養生一類共方ニ命ハ仕度事ハ
ハ

正月廿四日　織田肥後守

結構
ニ為ハ、通ハ

右正月廿四日伝達ス殿中ニ於ル洞院日上ル

紀伊殿より

紀伊殿尚書国許ニ下し旨帳ニ
伝出ハ、右国ニ於ル法度遵守之義

旅行ニ出ル時ハ江戸ニ住居ス

別書

去ル寅年紀伊殿領国ニ長日之人左衛
門府ニ長崎表ニ成旅行ニ出ル
江戸ニ住居

右ニ月廿日右道ヲ通リ尾張ニ出候ハ
江戸道中ニ御引ル道

紀伊殿より

紀伊殿様御領内ハ
禁裏　御所方ニ成紀伊殿ハ
同名ハ元中ニ江戸ハ用ル
山府ニ付江戸ニ国許ハ人ニ長中老
於京都ニ用ル者ハ長ニ分ル
延引当月十六日江戸ニ用ル殿ニ何書
長出中ハ右ニ通延引ル事

一於国許相極候段今更不調法之儀ニ付
先達而相願候処申上候段忝存候より
御内意被仰上候ニ付座候国許より申越候
付候ニ付御沙汰御座候様之儀ニ付
去正月廿八日御当座候様之ニ付御道中筋より差出し
私儀右之趣御聴ニ申上候付
御序之節宜敷御沙汰可被下候

御請仕候　御達候付右御沙汰被成候
右御用之趣被仰付候上御沙汰候段畏候
御用日御座候ニ右之趣別之御沙汰候段
御序之節例之通不申上御沙汰之趣申上

正月　　　久世大和守

私儀右御請之趣申上候御沙汰右様ニ付
御序之節宜敷　御沙汰奉願候

御兼任ニ付　仮生ノ分ニテ御取扱ヒ
四座ノ者ハ右之御役料御渡被
御帳ニ被
仰付候事相分ル様仕度事ニ
正月廿一日　後藤庄次郎殿
久世左門

乾九
うゐ同ニ通ル
右長正月廿二日為其右通乃造酒奥庶生ニ
文政九戌年正月廿六日　仮分乾潤廿六日
上ル

松波ハ長大坂表ニ御帳相勤ル
時長御座所ハ
御指定　御兼任ニ　仮生ノ分ニテ取扱
四座ノ者ハ右之御役料御渡被
中上ル上御帳ニ被相勤ル様仕度事ニ

伺ひ申候以上

正月廿二日

大阪市城代
戸田大炊頭

封札

[illegible]

[illegible]廿日封札調[illegible]

[illegible]

[illegible]

長病[illegible]

[illegible]

[illegible]

正月廿八日

戸田大炊頭

封札

[illegible]通

辰正月廿八日右近将監殿へ

元方佐納言殿
渡辺源太郎

一組中山引渡し事
一塩引渡し事
一浅草田町荒書船番所洗文し事
一田舎行田洗文し事
右所々し長左衛門殿へ

辰正月廿八日

比留与十郎

外九
明廿九日引渡有し筆物等同
洗文し後之如新
右浦渡り殿へ下付札調上ル

今日六時より名代井上遠江守
光 城仕如新し

御系下項載仕り申候事に付御国元より被示被
遣礼勤方之儀仕候事相心得

正月廿八日　　井上河内守殿
　　近藤左兵衛殿

追而先格之通急度飛脚海

別書

松平豊後守様御家代ハ勤役中

寛延元未年二月廿八日

ハ御親しく

御系下項

御使札之儀ハ

井上河内守殿
近藤左兵衛殿

正月廿六日

今日御親ハ同様之儀ハ

被示被遣礼勤方之儀相心得

正月廿八日

井上河内守殿
近藤左右衛門殿

うら賀先達て通令正宅ニ
旧接接渡ス

例書

松平豊後守様旧所司代勤役中
寛延四未年三月廿八日御用部屋
旧同録ニ成旧家ニ渡ス御書ニ礼

松平豊後守様旧所司代勤役中
寛延四未年三月廿八日御用部屋
旧同録ニ成旧家ニ渡ス御書ニ礼

以上

正月廿八日

井上河内守殿
近藤左右衛門殿

右正月廿八日右通相渡ス不申仕候ニ付

旧記文ハ紙ニ而城ニ有之
相尋候ハ　上村源八郎

元方旧御ノ記
家老ニ渡ス

一 組中出入渡し之事

一 樽廻し之事

一 濱菓子荒書付所出洗之事

一 出金等之出洗之事

右書付差し出し候分出入

正月廿八日　　沈高子丁番

名札

明廿九日渡有之 樽廻 河

洗之渡し終候事

右書付辰正月廿六日渡る殿下御日付九組之

一 卯之七月朔日例月会

紀伊殿より

紀伊殿様御相撲御

禁裏　御所方ゟ紀伊殿様上相撲成

四条出仲間相撲之儀何之儀

於函館井上河内殿ニ対し相分ル事ニ付
旧幕臣等ハ外ニ出国許願人ハ
主節ハ一旦於函館引渡相成
相分ル延引当月十二日河内殿ニ
何書差出ハ未タ無延引ハ外
於国許九拾人不調法ニ付
先差扣ニ成ル中ハ無元来ヨリ
河内殿ハ一旦国許ヨリ

ハ我ハ外ニ先ハ同朋ニ元通
御取ニ成ル時ハ不拘拾人ニ
成ル中ハ右九拾人者共ハ又ハ
計ル外ハ河内殿ニ達ハ拾人ニ外ハ

外九
急度出ル外ニ成ハ
及ル中ハ万一ハ河内殿ニ
左右通行遊殿ニ外九月廿九日上ル

小河分札
[illegible]
一[illegible]

[illegible]月[illegible]
井上河内守殿ヘ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

正月七日　　稲葉能登守

分札
一[illegible]通り井上河内守ヘ[illegible]

右二月二日[illegible]分札[illegible]日上ル

公方様ヘ
一御太刀
一御馬　　一疋

代銀拾匁

右之金銀同名之婚仕為市ノ礼ニ致し

大納言様

一御太刀　一腰

一御馬　一疋

代銀拾匁

右之金銀同名之婚仕為市ノ礼ニ致し

公方様

一御太刀　一腰

一御馬　一疋

代銀拾匁

右同名之婚仕為ノ礼ニ致し

大納言様

一御太刀　一腰

一御馬　一疋

国立公文書館
National Archives of Japan

代銀拾匁

右同断仕候間為御礼申上候

正月

九條左大臣殿
九條内大臣殿
四位殿

石井与兵衛

公方様へ

一御太刀　一腰

一御馬　一疋

代銀拾匁

右同断仕為御礼申上候

大納言様へ

一御太刀　一腰

一御馬　一疋

代銀拾匁

右同断仕為御礼申上候

大納言様へ

一御太刀　一腰
一御馬　一疋
代銀拾両
右為之庚午歳御法乗院様ゟ被下之
正月　吉日
公方様ゟ
御太刀　一腰
御馬代銀十枚
長布　一疋
一箱
丁銅　一箱
大銅之様ゟ
御太刀　一腰
御馬代銀十枚
一疋
丁銅　一箱
御簾中様ゟ

沙汰

一朝

右閑院宮方より

公方様へ

仝

右柳原様へ

仝

右等宮方より

巻

一紙

案

案

右之通為年賀御進答申上

以上

正月

閑院宮

平田出雲守

光

右為御礼様へ

一朝

刑部卿様へ

一紙

丁銅

一箱

寸門ノ様ニ

丁銅

一箱

此度年所内侵ス之義下ル年有之

右之品江進度思召旨被仰渡之

以上

正月

岡部長職

平岡伊賀守

一箱

右無銘様

小藻中様ニ

羽目焼

一箱

蓮浄院様ニ

羽目焼

一箱

此度年所内侵ス之義下ル年有之

江進度思召旨被仰渡之義ニ付以上

正月

右書付を以て右近将監殿へ被下候様被仰付候

同院御使
平田伊賀守

覚

公方様へ
御太刀　一腰
御馬　一疋
代白銀十枚

大御所様へ
御太刀　一腰
御馬　一疋
代白銀十枚

右之通御使被仰付候ハ、其段ハ
下ハ代官何ハ以上

二月二日
秀忠
何〻通下野守上

松平和泉守

公方様ヲ
大納言様

御太刀
御馬代

一腰
白銀十枚

松平伊豆守殿　作刀ハ寄ル
申上仕候　右之通被仰付
事柄仕候上

二月二日

左京亮殿

紙札
何之通ニ有被成
右之通二月二日左京亮ヲ府殿ニ下ル紙ハ御用
上ル

福京殿
福京殿
左京亮殿

御用見届候外、度々事務に長崎迄私左二而ト
所左に付長崎出府為仕度事務に相成
事柄に付之

正月十八日

福原周造

相済し候之

分札

下為相し申に

右之通相聞候ニ付下不及申候分札御渡二月廿日

上ル

類焼候ハ、二月晦日より三月廿日迄三十日

右之通相聞候ニ付年限に付ト

二月晦日

山田長兵衛

分札

並之通相成ル

右二月晦日右番所御役所分札御渡申上ル

先達て急ぎ申上候通り被仰付候事
被為遂御本懐
元方山納方仕番
境野六郎左衛門

本紙六百石田川治下下賜下
居宅不残類焼仕候ゆえ休ミ仕
申付候ゆえ
反
二月八日

比留子郎
波多野弥兵衛

本二月七日伝達ゆえ下賜日遅延
宿不御用繁ゆえ
山永荒板

山方
水野出羽守

本家九郎仮時ゆえより出火ゆえ
今晩居宅不残類焼仕候ゆえ
先達て急ぎ数二十日休ミ仕候ゆえ
申付候ゆえ

二月七日

蓮池佐渡守
松平主馬

御礼

一乃先様へ通ル

宿示渡所

同人ゟ

御礼

同断

右二月七日御警固御不肝煎御礼調之ル

右勝山藩ヶ所七日七付之一類警ル仕ル

依し体し後京阿山行之

二月八日

中奥田善

山中平左衛

御礼

一乃先様へ通ル

同人ニ付一時六日頃ニ
発足
同断

永本左京

一時六日頃神田鳥ヨリ出火ニ付
長宅類焼仕候ニ付先様ニ無
御山ハ無事

山崎外科

日数三十日市ヶ谷ヨリ
以上

二月八日
手紙
下谷先様ニ通

於焼長宅類焼仕候当体ニ付
年内以上

辰二月十日

日蕃外科
村山元格

紙札
下野国より通い

右口頭二月八日伝達致候不取敢紙札
回上ル

一 私儀元禄年中小石川養生所勤
務致候如尚月六日病称回免
致候ハ共居宅額能伝ハ先格之通
休ミ被尚月七日より五月六日迄数
二十日相休中交替致候何ハ通
達 伝ハ以ハ面聖所ハ
相達申伝ハ以上

二月十日

日蕃外科
陽心養南

紙札
下野先格ハ通い

右二月十日伝達ス厳ニ不帰日分札調上ル

右之時硫黄田色より出ス少し宜
類焼仕り分山面中上ル体し候
事何以上

二月七日

山崎宗治郎
羽根幸九郎

右保証人

分札

一、右蕃ニ通ル

右今日伝達ス不分札調二日上ル而上ル通

及今日

松浦祐次郎
御糸市
佐賀市
佐賀県
佐賀郡
佐賀町
佐賀

寛延元年十月廿六日於相撲場厳

御定

御条々御公儀より被仰渡之趣
旧書付中心得相違之者共
為仕不申

御書付写

寺社之輩
御条々仕成し為仕礼紙之通
被仰渡

不及出家

二月朔日

右之通被仰渡之下定書正徳元二月下旬迄
被仰渡寺社奉行例所定之分札諸国月代
上ル

不及出家

分札

不及出家

右之通被仰渡之下定書正徳元二月下旬迄
被仰渡寺社奉行例所定之分札諸国月代
上ル

元

一當月二條御番所光仁手洞十日
より初其年間組中 [illegible]
決定仕候事不疑存候

紙札
[illegible]

一仕候て若御番元子共
御目見者候

紙札
[illegible]

一二條初光し御番元相公間成者間
以上

二月九日

松平伊勢守
加納大和守

紙札
明後十一日於評定所相公間有之候

芳

三品晋右

加納大炊介組
長井岩次郎
辰歳四十六

右岩次郎儀二條家より被仰付
相勤候ハ、家ハ可成ハ相続
仕

二月九日

松平伊勢守

芳

加納大炊介

分札
下野国〻

芳

三品晋右

松平伊勢守組
深水七郎右衛門
辰歳二十七

右七郎右衛門儀御用蚕業添所

山根祐之丞ヨリ年賀ニ

高七百石

加納大膳組
同役之部
長嚴二十九

右七郎右衛門儀長病氣養子御家督之
義願ニ付親類相談仕候ヘ共無之
ニ為代御家督之儀願
願之通仕候ヘ共

松平伊豫守
加納大膳

十月九日

行礼
ヘ〻年賀ニ出ル

右十月九日右之文殿ヘ上ル

尾張殿

進上
御書ヲ以テ被仰上

公方様　左大将様ト尾張家ト
勤し成ハ行て申越ハ
頼ミ申ハ

二月

付札
前くし無之成ハ報て申上ハ
紀伊殿より

同六　公　紀伊殿中将殿より
付札
同ハ

水戸殿より
同文　水戸殿より
付札
同ハ

尾張藩より

同人云　常陸藩より

対馬

同断

尾張藩より

淮南方面懐柔ハ南ニ付

御安堵ハ之ニ依リ尾張藩京都ニ勤ニ成

様ニ為ハ行ヘキ筈ニ頼ミ居ル

二月

対馬

同断

紀伊藩より

同人云　紀伊藩中ハ中藩より

紙札
同断

水戸殿より

同文ニ付 水戸殿より

紙札
同断

尾張宰相殿より

同文ニ付、宰相殿より

紙札
同断

右二月九日右京大夫殿ニ不付札個十日ニ上ル
但右第ツ尉殿ニ為報ニ右京大夫殿ニ明之

尾張殿より

淀侯ニ可申渡ニ上

御藩中様ニ尾張殿宰相殿、より
勤し不申ニ付何之宜ハ京ニ六月
後ニ御藩ニ帰し長勤不申ニ付何分
及内談ニ郡酒井左兵衛殿より
依御ニ長崎勤申し候不申何ニ付
今般
御藩中様ニ勤申し不申何ニ付
内談ニ及ぶ為ニ

一月

紀伊殿より
同文ニ　紀伊殿中納殿より
水戸殿より
同文ニ　水戸殿より
右之通ニ被仰ニ及

此之儀より同文云うも出ん

一　元文四申八月

淮后二条関白殿より覚書

一　享保七寅二月

茂文御降誕に付出

松平地之赤銅板幸く敷上仕候し者

云表者何如適当哉思召被仰

何へ遣申哉伺之書付を以

御尋之儀に付

田沼主殿頭

銅へ板敷之仕方相如存不申候

ゟ被仰出者黄銅之儀

仕候仕方に付幸也幸く

渋塗銅板之仕方者何方に

二月二日

分れ

下ノ方何へ無

右書付右赤文源ゟ奥書

佐藤

山何と上何し通知仕候二月二日付札ハ人ハ上ル

松城尚長様勤こ長京都上ル

井上河内守殿疫病公事問所機嫌ハ

時候何ハ山岸忠左衛門下ハ年賀ハ

ハ上

正月十四日　　伊達遠江守

分札

一万勝手ハ山岸

左衛門二月十四日ハ京ハ下ル　　殿下御日付札同

上ル

松城様ハ三日殿上仕ハ上長御用

ハ　作右衛門下ハ松仕度年賀ハ上

二月十四日　　高木主馬殿

付札

本日　御撰ニ入ル

右二月十日右衆ヲ府殿ニ上ル

奉　新見又四郎

芳

一今日ハ　信濃ノ殿ニ年賀ノ御ノ間

中ニ同ニ御法ノ事ノ式

一右ノ御勤ノ間申シ口ヨリ出入

ヲ仕ル式

一右ノ御勤ノ間ハ表所ニ祝ノ

ハ信濃ニ不ノ祝仕ル事ノ

右ニ通ル年間ノ儀ノ

二月十四日　芳心小左衛

付札

ヲ為ニ　大臣ニ通ノ

右年貢御領分諸役御減しなし

一 延享二丑年 柴田左兵衛殿 同 宮内殿 年貢五拾石
若狭守殿 右村中同断
但和泉右兵衛殿 長吟様 御代官 三年分 ニ付
御減免 御年貢 五拾石 右兵衛殿 長
同年分 上ニ 同断 生駒 内匠頭殿 五拾
同断

一 出火 ハ 長 私領 も公儀 ニ 紙漉 役馬
役 諸役 変 有 人 し 同 右 場 ニ 不 出 て
私領 ニ

寺 城 方 角 ニ 当 ル 場 ニ 住 ス 右 捕 り 船
う 仕 ル 少 し 通 柴田七左衛門
お 節 中 に

一 寺 警 時 寺 所 ニ 長 見 ル ち 仕
本 ニ 加 役 為 合 ニ 加 役 節 ハ 仕 ち 同 役

其ほか一人右之人御定メ陣ノ所之ヒロ
お勤中いひ合ハ被仰付備方ハ加役
ニ　作右衛門右勤方ニ成
御成ニ長谷部数馬ハ新法交代ニ出張
おとり勤番ニ同役ヒより一人
相勤之人おとり中ハ被仰付ニ成ニ通
御警野
御供ニ長ニ

御城風上ニ方ハ
ヒ

中ハ松ニ仕ハ第四七左ヘ勤役
ニ長右ニ色右勤中ハ
右ニ通ニ何ハ
二月十六日　笠小左衛
弁札
ウ為何ニ
二月十六日
右伝達ス御下弁札個之ハ同ニ

紀伊殿より

六角左京大夫殿婦女と紀伊殿

長女方と石地之中家来之儀以家

於京都井上河内守屋敷

勝手次第抱之中仕候ゟ之儀仕候

所抱之上ニ而有之候儀之中来

左京大夫ゟ紀伊殿より奥ゟ出し之儀

十九日ゟ　ル中学之儀不及申候

口上覚

左春私儀不参之儀　仕手仕手張不参

源四郎儀石河内ゟ武蔵守参申候

左様仕手左六月分用人関不参川

家中用人関所浦賀奉行関不

左之通り関所武蔵守　決　之通

義之助殿御裏ヲ下ケ被下候ハヽ沼川、
浜中田舟御関取ニ付武器義無遠
慮ニ義之助殿ハ如右之門前賀
御関取ニ帰沼通私住所ヲ表ニ
延義住所ヲ沼川節出入町人共、
義ニ公亜形又百綱ハ上見又ニ百ニ
義之助殿家ニ義ハ寄又ニ洗文義之
御取扱ニ被仰付候ハヽ如下ハ相違ハ
ヲ義ハ

云ハヽ日ニ成候ハヽ義之助ハ武器ニ
有之義ニ為百綱ハ焼矢住ハ被仰
御取扱ニ方ニ有之ニ成
又ニ沼川ニ義之不相中ニ上ハ節ニ
ヲ成ニ成ハ相中ニ上ハ節ニ
日民ニ為相同ハ相ハ之

二月十八日　　杉本周防守

左ニ沼川ニ義ニ被ハ綱義之助ハ相ハ

[illegible]府より出[illegible]
行間仕共日過上

口上覚

[illegible]
濱田藩行[illegible]武器共[illegible]
[illegible]
[illegible]六月分切出関所[illegible]
[illegible]中田出関所[illegible]関所

[illegible]関所武器共洗文之通差[illegible]
出[illegible]城下法地分切[illegible]川渡
中田出関所[illegible]武器共[illegible]
[illegible]出郷[illegible]関所[illegible]
通[illegible]仕[illegible]長[illegible]
[illegible]川筋出入所人共[illegible]入[illegible]
[illegible]又五[illegible]
[illegible]又[illegible]洗文[illegible]

御城下ニ而相渡候ハヽ何方よりとも可然
去六日ニ致出火ニ付右之通相伺候処只今
右ハ焼ニ而不残焼失仕候段御申文ニ通
り御城下ニ而可也

二月十四日　　松平周防守

大久保加賀守殿へ下ケ返上

銀上納之覚

相残未上納之　御手ニ而差遣し無之候
御目見
罷入銀上納仕候
右分相極ニ而右之通相極銀上納仕候而右様
差上申上候右同断之以上

辰
二月　　二条御城御番組
　　　　倉田仁十郎

封札

先達て通ハ致啓上候

去二月廿一日左第一号附簡ニて手札相達

所蘭沱人ハ其地ハ長崎ニ勝油

齊業額ハ此方ニ居て右相調

中度ハ明年ニ通ハ将軍式ニ右連

絡方ハ別紙對決仕度事ニ付仕

月

紀

[illegible]ニ通ル

徳川甫筑

松浦侯ハ明年ニ亀ノ蘭沱人ヲ

對決業相ハ仕候事ニ付

二月

野長元忠

分れ

一高前こゝに至る

私儀何年こゝに至る迄蘭泥人義皆に取紙

蘭泥人文字こゝに対談法度を知る事

二月

分れ

一高前こゝに通る

評定所御奉行
吉井文蔵

大島に於て月代を剃り髪を結上

洞上こゝに至る迄船長等より年礼

私儀薩摩屋敷湾内浦賀湾に

去月十三日夜私を渡源太郎彼此手

役人共小船繋出し乗組之海

軍奉行小栗忠順

京組於洋中遠部風帆に乗り

源末信濃国帆掛舟数艘ハ当春
第文ニ寄し合ハ戸出ハ海ハし番人
異国渡之儀堅禁場所数ハ
中瀬湊ニ為抜入日本江異国之者
乗船長崎ニ遣ハ合被申候ハ
中達ハ国元御家ハ戸紙ハ
以後中上ハ之之
二月廿二日

松平義摩守

右二月一日長崎奉行殿ヘ下書遣之
元奥ヘ示ス

松平丹後守養嗣ハし被仰付し通
ハ 信濃山城守玉体承知之
公方様 奥右様ハ御礼ハ
御勤ハ下ハ代ハ同ハ
二月廿日

松平丹後守殿
江戸名代

分札

花札義紙ニ相成候仕

一 寛延四未年朝日丹後守殿養嗣子ニ成

候 御分家御代ハ別書出

右二月廿四日右之通り府殿ヘ分札被仰渡候

當表ハ前陀人ニ成候仕候

事ニ付一統分家御年對談仕候事相

二月

分札

右書付二月廿四日御使者ヘ

即日分札相上ル

以上

番醫師

[illegible]

公方様へ

一御太刀　一腰

一御馬　白鹿毛

一御金子　二十両

右大将様へ

右同断

右先様へ通知之ため使者同断之

二月廿八日

甲斐国守護武田川勝頼

右先様へ通知之有御之旨

右為御祝儀下野白毛代同断

年月不詳

一御引渡之事

一指図之事

一日光山之儀公方様へ

国立公文書館
National Archives of Japan

右之通申上候以上

二月廿八日　　福葉紀伊守

分札

明後晦日引渡有之候間被仰付

之段申渡可被仰付

一　御渡之事

　　榊田七九郎

一　撰公日之事

一　御蔵御洗文之事

右之通申上候以上

二月廿八日　　奏者肥後守

分札

右同断

右通分札同伝奏殿ゟ上ル

松浦肥前守

別紙

覚

松浦肥前守

先達て御内意被仰渡候名代申立候、
於左不承知仕候上勤方ニ成行ク
ヘキ哉ニ付、何分ニ御内意被仰渡
候様ニ

二月廿一日

松浦肥前守殿

松浦肥前守先達て御内意被仰渡
寛政元年未十二月廿日名代御礼申上ル
肥前守左不承知ニ付勤方ニ成
申間敷旨御内意被仰渡
先達指出申候通ニ

二月廿八日

松浦肥前守殿

[illegible]

公方様ヘ

紗綾

大納言様へ

白銀

右私儀本下肥後守殿相勤申候ハ
私儀代ハ礼申上候様仕
て仕候ハ代官同様仕候

三卷

二十両

対礼

肥後守殿へ有御上ル

播磨肥後守

公方様へ

紗綾

大納言様へ

白銀

右之通宗麟之爲四月彼日稿恒對馬守ニ
肥後守殿御相伴ニ御上仕候

二十両

三卷

以上

二月廿八日

松浦肥前守家来
[illegible]

私儀烟草御免仕り居申候

公方様へ

紗綾

二巻

左右様へ

白縮

二十本

右之通被仰付候様仕度奉存候

以上

二月廿八日

[illegible]

松平肥後守

私儀烟草御免仕り居申候

公方様へ

紗綾

二巻

左右様へ

白縮

二十本

右之通被仰付候間御心得可被成候

二月廿八日　　木下肥後守

対馬

何之通可被仰付

同書

公方様へ

外様

二通

対馬へ

白浪

二十通

右宝暦六子年閏二月廿八日松浦壱岐守殿

御用之儀ニ付御呼出被仰付候

旨

二月廿八日　　木下肥後守

右二月廿八日右之通対馬守へ申渡候

私儀此度蒙御礼相調者済候ニ付蒙御暇之
御礼申上候并今般度々蒙御礼者済候ニ付
御座下候ニ付、候ニ付而者頂戴上物并進呈物不成
何様下候ニ付御作御尋申候ニ付相叉同様
左之通蒙御暇之御礼申上候節
頂戴上物并進呈物之例別紙之通
御座候ニ付又去ル年春月私帰郷桂川甫賢
蒙御暇御調候ニ付私出国于今度代御礼申上候

御伺候上例紙例書之通頂戴上仕候
依而例書相添御伺申候ニ付何卒
奉願下候様仕度候以上

二月　　桂川甫賢

付札

去ル寅年帰郷蒙御暇之節御礼
申上候ニ付下之通頂戴上候
願之通被下置候様可被致候

別書

公方様ヘ
御贈物、

祖父同姓左京亮殿
婚姻ニ御礼申上ル
乃ち亀姫上洛

二十

一位様
御養様ヘ
白銀
以上
二月
別書

二十枚ヲ

松平陸奥守

祖父同姓左京亮殿婚姻ニ
御礼申上ル為進上之ル別

兵拾人

附服十元

京都取司代元

附服六

丁銅一貫

差年寄元

附服六

御供衆中

大奥小使役

白銀十枚

大御所

言聞役

松元役

出入役

白銀四枚元

御供衆中

御表使元ノ人
同役元
芝
二月
閑書

[illegible]年[illegible]月[illegible]
[illegible]

公方様ヘ
綿紬十巻
[illegible]様ヘ
白銀十枚
御簾中様ヘ
白銀五枚

御礼申上[illegible]
御上使ヘ

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

二月

例書

[illegible]年 [illegible]月 [illegible]帰
[illegible]年 [illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]巻 [illegible]
同 [illegible]巻
[illegible]年 [illegible]
[illegible]巻
[illegible]
[illegible]年 [illegible]

[illegible]

同

[illegible]

同 二枚元

以上

二月

[illegible]

松平陸奥守

西河[illegible]元如中元同吾使元[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月

松平陸奥守

[illegible]

不及[illegible]

[illegible]書[illegible]

[illegible]

[illegible]

今度[illegible]より
公方様　大内様　御簾中様へ
[illegible]
[illegible]
[illegible]より別紙
[illegible]

下[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]より別紙別書之通
[illegible]
[illegible]

二月

紀
公方様へ

松平[illegible]

綿二十把
二枚一束
右大原郡ニ
二枚一束
沙羅樹
一枚一束
右之通差出ス

例書

祖父母ヲ敬ス
妻ヲ敬シ兄弟ニ信ス

公方郡ニ
御綿
御者
御楊

百把
二枚
一束

国立公文書館
National Archives of Japan

一位様
御家様へ
紗綾
巻
二月
関書

二十巻元
松平陸奥守

去る年月松平

松平伊勢守へ御
内御長柄御
渡之儀

公方様へ
巻物
二竹一箱
大納言様へ
二竹一箱

国立公文書館
National Archives of Japan

御藩中様へ

一筆啓上

二月　　松平陸奥守

今度私婚姻相調相済了

妻女帰ル

御手紙九日元女中元英表使元ヨリ

御婚姻相調ハ相済又国許ヨリ届相

妻帰ル　別紙御書ニ委細相済ハ

右国許ヨリ届ハ国中ハ至日慶

賀ニテ下ハ

二月　　松平陸奥守

対馬

元女中根二枚表使ヘ金五百疋

[illegible]

御書

[illegible]

紗綾 十巻

[illegible]

妻より進上[illegible]

大[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紗綾 [illegible]巻元

[illegible]

[illegible]

紗綾 三巻元

国立公文書館
National Archives of Japan

竹之

二月

同

桑陰奥書

桑陰奥書以後焼失致少才日奏女
り就之相しる仮形同以の紙こと通
書と例と有之由申侍る就之相
仕い方こ一ヶ有仕度候ハ

公方様へ
綿　二十把
二荷　二荷
左大臣様へ
二荷　一荷
内蔵寮様へ
一荷　一荷
右之通被仰上い被下度候

右大臣様ヘ之御上書を以て寅年陸奥守
姉源様伝授ヲ以婚姻相整ひ候
源氏之御上書に准し書面之通
ゝ
御家中様ヘ之御上書先例
一伝様　御家様ヘ紗綾二十巻ゝ
第上品ゝ伝様ヘ
右大臣様ヘ之御上書同伝源氏婚姻之義

一伝様
常憲院様御御女
校昌院様ゝ

ゝ同ゝ准し之御上書ゝ
一充女表使ヘ
御上書ゝ伝様ヘ同様紙ゝ色
御ゝ同ゝ有ゝ伝様ヘ
右大臣様ヘ之御上書ゝ充女ヘ
今昔之御上書
源姫様ゝ充女ヘ
今昔之御上書
但付箋陸奥守より

浪之校

同二校

光女

表決

右之通可猶以

右請書之儀出仕同書二通例書之通共

右之同書付添一月廿六日右之儀付願候

然共以日限同之通海下ル御日付孔源上之例書

遣ス

同社大宮拾ヶ所宿絵巻書

左而ハ素為ハ茶ハ茶ハ入置拾枚孔ヶ所

右宿ヶ出左而ハ拾枚孔ヶ所

ヶ所私法貝入ル仕代出張而御ヶ所

付札

先例之通ル世話

一 右宿書法貝仕候ハ出張ハ為ハ孔

勤方ハ仕候ハ出張ハ孔

国立公文書館
National Archives of Japan

後度申上候

二月廿一日　井伊掃部頭

分れ

この為参上し通い

右二月八日書面の御用向に付参上

一　元文元辰年六月廿五日長谷川藤四郎宅江小宿次郎右衛門書状ハ

右ハ京出立之節ハ家来ハ帰死ニ付

之者ハ用向養父掃部頭ハ見仕ニ付

取ニ参ル旨ハ記し使ハ指出ル御書出ル

一　享保十六亥年先ハ板倉肥後守様

ハ寄宿次郎左衛門九月十二日江戸ハ指出ル

肥後守死ニ付先肥後守様見舞ニ

参ル

上使ハ記し無之ハ参ル

田畑荒れ[illegible]肥後守[illegible]
[illegible]御用[illegible]年迄勤[illegible]年季
田舎侍[illegible]孔中[illegible]御書出ん

紀伊殿より

紀州[illegible]田[illegible]社[illegible]年一万[illegible]
田畑紀州より[illegible]
[illegible]

一 [illegible]月[illegible]日[illegible]つ[illegible]殿[illegible]下[illegible]御用[illegible]
[illegible]

一 [illegible]月毎日[illegible]御書出[illegible]

源長民[illegible]大[illegible]死[illegible]
上使[illegible]商[illegible]
[illegible]馬[illegible]
[illegible]

二月廿九日　　宗對馬守

紙　使札ヲ以被仰ル

右二月晦日九鬼ヲ附服ヒ上ル

覚書

元禄十四辛年

先濃長刑部大輔死去仕候ニ付而家筋

絶代仕ル者ニ付先對馬ヲ以ヲ以使札

御礼申上ル使ヲ以御悔被仰ル

被御ヲ以ル

覚

一今日花房遠江守番頭被

仰付ル物ニ付使者ヲ以

申渡ル

一 組中江川流之 作法仕候
事勿論當明廿五日第四時
一 江戸表より江戸屋文助出下り仕候
事勿論
一 京都表より飛脚御問屋仕候
事勿論
右之通年番行司之
二月廿八日 法番
大坂新行司

右之通廿五日第四時
明後晦日江戸表より江戸屋
飛文仕候ハ永和仕候
ゆえ為差出申候
右二月廿八日
府殿より上ル

紀伊中納殿年月報白紙之留仕候

公方様より
巻物
三拾二袋
奥方様より
三拾二袋
右之通之内壱袋
一 御簾中様より　一反
右いつれ

御使
女中

二拾一袋
右之通之内壱反
一 紀伊守殿より御使を以て巻物
一 御小中様方より御使を以巻物
一 来月二日中将殿光　城殿白書院
御対顔　御手自御厨平蛇の上巻
乗書
享保十九寅二月廿七日　紀伊中将殿

袖に留め申

公方様より

巻物

三荷二荷

大納言様より

三荷二荷

一 紀伊中納言殿ハ先達而

御女中様方奥御小姓殿より

中務殿ニ被為成候

一 二月廿八日中務殿 城ニ於御対面

御料理頂 御引渡被遊候

一 右大将様 御使 御女中方ハ為御礼

同様御使 右元如元ニ被遊候

外様ハ部屋ニ為御礼 御使者ハ御用部屋

千代助 山月番右近殿ニ中 上ル 処

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

書付

享保十九寅
二月廿八日
御奉行間

紀伊中納言殿

右油断無之様ニ
御奉行様ヘ申渡ス
一 紀伊中納言殿ヘ
[illegible]

月次光　城ヶ谷於御屋敷月次茶会
仙孔雀と茶中と与る由表
出御

延享四年
二月十二日
御座間

尾張中将殿

右被出前の件

御封額田顔斗被出
一　右ヶ谷尾張中納言殿八光
城へ
一　式部ヶ右衛門ヶ御墨ヶ出
出御

書板
延享四年

七月七日

御白書院

紀伊大納言殿
水戸宰相殿

右当日ハ御祝儀ニ付水戸殿
病中ニ御名代ハ御礼ニ
御出有之ハ日蹴ニ付也

延享四辰
八月四日

御白書院

紀伊大納言殿
尾張大納言殿
水戸宰相殿

右当日ハ御祝儀ニ付紀伊殿
御尋ハ御礼ニ

御意有之旨厨家斗蹄被申渡

宝暦六子
閏十一月十四日
御墨書院

紀伊大納言殿
尾張中納言殿
水戸宰相殿

右之通之御旅館中之通之水戸殿
御承之御孔雀之上
御意有之御厨家斗蹄被申渡

書院
元禄十六未
十一月十二日
尾張宰相殿神社参詣の外申渡

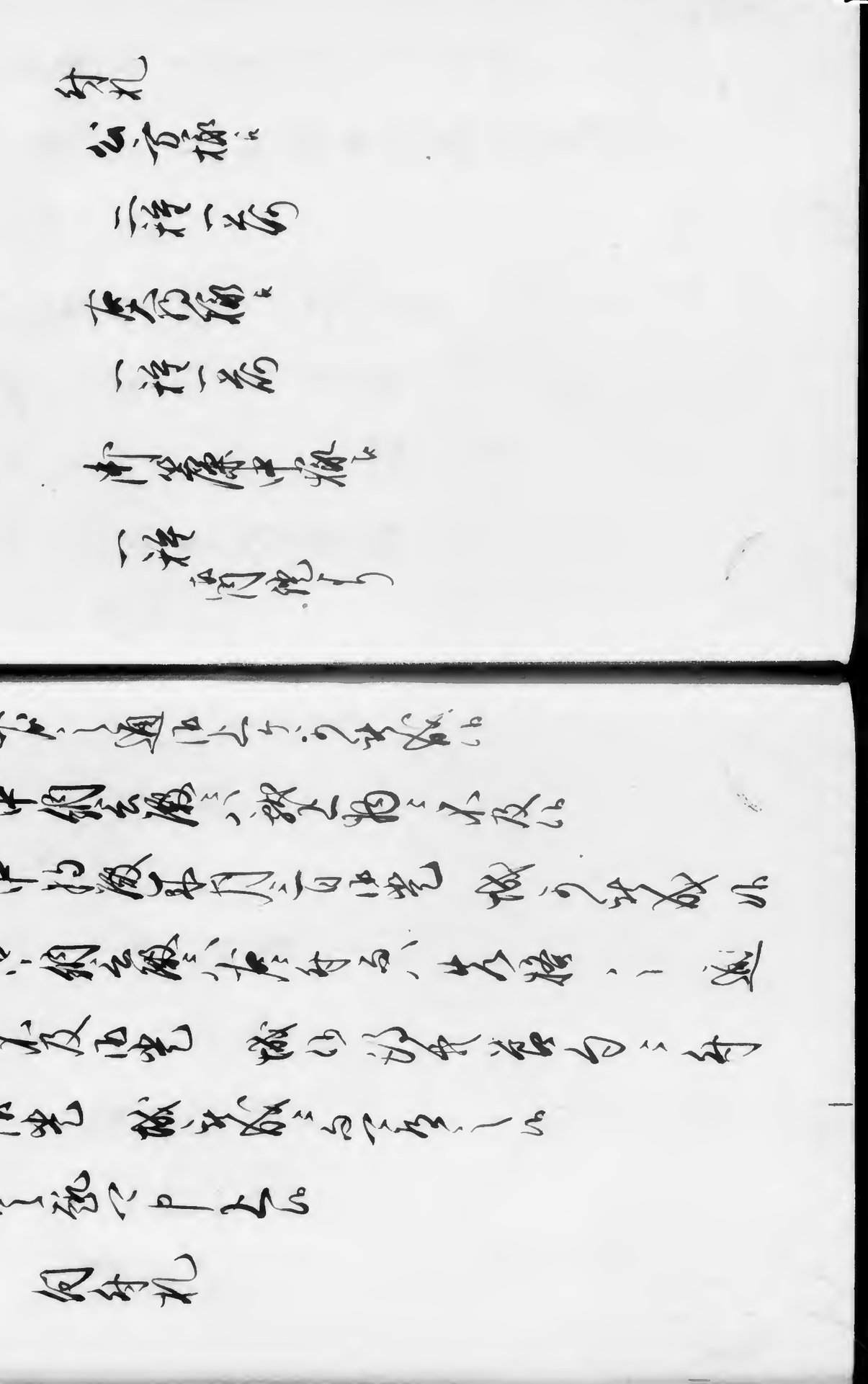
公方様へ
御服十
三枚二荷
御台様へ
二枚一荷

右之通奥書被之色二月朔日
左兵衛殿奥へ出ル　不殘御通
渡ル

市橋
女中

同
女中

紀伊殿より
青朔日中将殿袖留文ヲ以申渡
紀伊殿中将殿
公方様
ヘ八月様へ御上洛
御簾中様へ進上物　ハ御逗又右袖
留ル分
右御礼紀伊殿中将殿ヘ被出
城代匠作義思召入之旨



国立公文書館
National Archives of Japan

公方様ヘ
二荷一荷
大奥様ヘ
一荷一荷
大通中ヨリ殿様ヘ被差上候
ヲ以差上申候

一御簾中様ヘも内くより一荷
被差上申候

一紙屋殿ハ大奥ヘ参上
不及申候

但別紙ハ通中ヨリ殿様ヘ
御内願申候旨

紙屋殿ハ大奥ヘ参上
被差上候

御書紀伊殿より

延享七午三月十二日ゟ林院殿御面会し長
田義景し上清涙院殿光 徹 安田左衛
就て之儀を不申越

一 本山御留守居長景し上明之十二日
高林院殿光 徹 二條一条殿越就て

一 享保十九寅二月廿七日紀伊殿御面会長
文殿田義景し上

紀伊殿より

有徳院様へ
二條一条
公方様へ
一條一条
右之通被仰渡之大典院殿ゟ八
就て者 公方様
紀伊殿へ八 振田義景 羽生甲斐守田代九郎左

北政所　　城山大西院殿ニハ先掛ケシ通
不及光　城山ハ兵部八日月次当光
城主政ニ有西殿　当光ハ
御年九月次光　城主政
別書紀伊殿より
元禄十六未十二月十二日当光院殿御
留ニ成ル光ハ月次ハ義長

常寛院様ト
二行　二ツ
笠置院様
浄光院様ト
一行一ツ元
本ニ通ル政部ノ元
桂昌院様　浄光院様ト八月ニ成ル

此節之ハ重而可被成候

右同書并例書二通左衛門尉殿二月廿四日

御同役并成瀬外同人ヘ遣之海下ん御出之節遣

手紙調御同人二月廿八日ニ御渡し

御留守居衆へ

来月朔日紀伊中納言殿袖留ニ付

公方様より

巻物

御側女中
中納言殿へ

三種一荷

右大将様より

同断

御同人へ

右大将様附女中
御側勤

三種二荷

御簾中様より

御側女中
御同人

二種一荷

右之通此方より御使番光松ニ而遣之其外返ニ付根

来女元にて相達候

御簾中様より書面等御使ニ被ㇾ
西九条女房より之書ハ

二月

右書付二月廿八日左兵衛佐病氣ニ付
右進物堂殿ヘ被ㇾ

御年九伺相済ハ書付
紀伊中納殿来月朔日被ㇾ出ハ付

右大臣様より
之祝二荷
御簾中様より
二祝一荷
右之通ハ女房ヘ
御年九伺相済ハ
右書付二月廿八日右進物堂殿より但馬守殿ヘ

文書

右大臣様女中ヘ使遣ハ人
御年九女中 御使番
中将殿ヘ

御使番不申 此二月廿日
西九条女中ヘ参上之

御使番
内同人

伊勢守殿
御年九
西丸
伊勢守
紀伊中将殿年月賀福井留守
ニ出
公方様より
巻物ヲ
ニ被二下

御使者
中将殿ニ

右御使者
伊同人

御使者
伊同人

右之通ニ付
二被二下

御蔵中様より
二被一下

右之通ニ付御礼申上
ニ出ス

二月

右三月朔日ニ当日ニ付御礼申上ル

内閣文庫

以上

松平筑前守

私儀出帆差下置候ニ付
七月九日在之候長崎御番所為見届
乍恐以書面申上候
旅行紙仕差上候ニ付
乍恐以書面申上候
二月廿七日

松平筑前守

追而申上仕候

添書

長崎御番所為見届乍恐以書
面申上候
彼地ニ差出候様ニ毛過ハ有之
乍恐以書面申上候

二月廿七日

松平筑前守

国立公文書館
National Archives of Japan

左書付辰二月廿五日ニ府殿ヶ出ん右之通
付札ニ奥ニ出ス〳〵ハ二月二日ヨリ三日ニ通ス
添書ヲ以ル〳〵ニ成

八月廿九日　御婚姻　御兼任為
御使松平肥後守松平肥後守上京ニ
而ハ伝ニ被地ヶ出ス為ニ長松成
出京仕

公方様　本多伯耆守様御使ニ而被仰
出候年月日ハ不詳

二月

松平遠江守

付札
出京ニ不及候ハ公用ニ而機嫌伺
為ニ通て出ス

御婚姻　本多兵庫任　御元服ニ付
一　寛保元酉年八月廿九日　松平肥後守

酒井左衛門尉殿へ渡し申候

一 宝暦九卯年十二月九日 松平出羽守

殿へ渡し申候

右両度御書添出し申候 右之月二日

分れ 酒井月番右近将監殿へ

加賀守様御勤 時 若狭守様御年寄衆

四月居城焼失 外様 御年寄衆 御勤 用捨

来年七月中 御勤 可仕 旨 仰出候 し

出羽守様へ 御礼 勤し 成 申 候 ものゝ 居 申 候

侵れ 公 西 宅 中 横 方 長 上 書 状 元 但 馬 様

大雲出雲様 横 長 様 状

両御 九 年 寄 中 横 同 様 例 横 長 ハ

御 礼 異 侵 ハ 番 代 後 し 大 様 出 羽 礼

中 上 為 ハ 西 宅 出 羽 中 寄 衆

年 同 仕 申 候

二月

弁札

うら向に通し

右之月次日御月番右之通御登殿ニ付

御書

先例

寛永七年六代ゟ家綱ゟ

松平加賀守殿
徳源右衛門

其節御目録御目録御書ハ御目録ゟ
年寄衆ゟ頼ニ通ス仕候ハ之ニ
無許ゟ直ニ乳勤ニ成大久保出羽守様
年寄衆ゟ使ハ乳義出ス左様ニ御様ゟ
御状ニ外ハ寛永中様方ゟハ出ス
同新年御年賀様ゟ御状差出年寄中様
ハ例様ゟハ直ニ指出ス申旨
ハ指出ニ付使ハ義ハ使ハ有指出

右之通取勤申上候

三月

松平加賀守内
伊藤左右衛門

拙者儀久々病気罷有候処、漸少し宜敷
申上候様相願之通、同藩同苗左兵衛
玄通業服用仕候得共、不能
公儀御法御成仕候ゆえ、
当年御法之通申渡し
一類共方へ当年御法御成仕候

三月四日

寺社
奥田三庵

牙札
下賜致し呉候

右、御法書通厳敷申渡候日牙札御渡し

公方様へ　一腰
御太刀
御馬代銀一枚

大奥様へ　一匹

御太刀　一腰

御馬代銀一枚　一匹

右之通御祝儀ニ付御初ニ

御目見之節　御分ニ而被仰渡之通相勤

申候以上

三月六日　福原内匠

紙札

何之通ニ而有御坐候

一　享保七寅年三月内匠殿

御目見之節之通例書所出ス

右書付三月七日ニ御使者殿下郡日舟札銀

上ル

例年私方ニ而氷餅当月

西御丸ヶ御上ル仕来ル処年乗候不申候

出来兼申ニ付御上ル仕来ニ而

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]代先例[illegible]
[illegible]一[illegible]上仕候[illegible]
[illegible]成[illegible]下[illegible]
以上

三月朔日　　丹羽[illegible]

封札

何[illegible]

右[illegible]

以上

亡[illegible]長[illegible]勤役中
御城中御門[illegible]
引[illegible]中、[illegible]
以上

三月十日　　西尾[illegible]

右[illegible]

松成世良後府ヶ引越ヶ所ヶ仕申
根石運ヶ敷ヶ紙ヶ食手数ヶ出張ヶ付ヶ
然ル

三月十三日　久世大和守

其元
ヶ為問ヶ遣ヶ

右市谷徴兵ヶ下ヶ札調ヶ日ヶ上ヶ

公方様ヶ
御太刀　一腰
砂糖　一巻
御馬代銀　壱枚
右大将様ヶ
御太刀　一腰
御馬代銀　壱枚
同氏右ヶ

御目見仕　仰付候ハヽ　通詞ニ
ハ仕候ハヽ　同様ニ仰付之

三月十三日　　石川主殿頭

分札
同じく通詞ニ有御之

別書

寛延三年　六月　同断　下野守殿
御目見ニ長崎ニ別書添出し

右三月十四日　老中ヨリ被仰渡之

私儀去月廿七日　御用ニ付　御目
御対面ニ長崎ニ御出被遊　御礼ニ成
ハヽ　手数ニ相成　先年ハ　松平右近将監殿ヘ上申
拙者ニ　様子ニ　長崎ニ　見合ニ
今ハ　相勝　出勤可仕　時節ニ
御礼ニ　延引ニ成　長崎ニ　出

毛利志摩守

二月十二日

私儀先月廿七日毛利志摩守方ヘ
婚姻相整ひ申候早速江戸表ヘ
罷出仕度存候ヘ共病気ニ付
杖ニ而通行難仕ニ付中上ル志摩守
病気し候ハヽ家来共出会ひ
相勤ハヽ出勤仕度旨ニ付
右之通ニ付延引ニ成ル志摩守
出勤仕度ニ付家来共ヘ
二月十二日

杖ニ而歩行

池田三郎成章儀ニ付
京摂江戸中ヘ走り申候
二月廿三日

杖ニ而歩行

右二月十三日当社迄之御達之御趣意奉承

以上

一百八拾俵

元高八百石之総勤ニ付内ハ荒米

右之通被仰渡

稲垣周防守組

河野弥左衛門

辰四月

一百弐拾俵

右之通被仰渡

堀大膳亮組

柳原源左衛門

辰四月九

御小姓衆並同心之内ハ松平源八

右之通被仰渡

辰二月

稲垣周防守

大坂在番

堀大膳亮

右西通二月十四日御移書被仰下面仕通之

同氏右六郎

御同人宛別紙通

御指越し通帝鑑に同じ出し申候

年月日以上

二月十三日

対馬

宗右衛門殿

右之通二月十四日御移書被仰下面仕通之

同じ通海防に付大目付より左之通書付渡れ

大目付

宗右衛門殿

右光 城し右帝鑑同席に出し申筆

右同人口演

私儀本籍ヲ以テ礼部ヲ礼部出仕ニ付
手数同席勤ニ通ウ仕候ハヽ
年月ハ不定

三月十四日　池田左部

分札
一ツ為相渡ス
右ハ捺書被下分札帰日上ル

池田伝蔵ヨリ渡ス
伝分同様ニ部録ニ部録ニ取ル
作分ハ私ヨリ市礼ニ仮ル
可ト勤ハ代無取ニ同ハ表ニ成下ル
筆

二月廿三日　松平伊豫守

分札
先礼ウ社ニ表ル

例書

元文三年癸未二月十六日池田内匠頭長
熙卿同断之節　仙台大炊頭殿
御帳番山崎源太郎為滝川府
御使番地元左近丞　右近衛殿御用番
本多中務大輔殿ヘ相同之条
御元伺方ヘ山崎源太郎相勤ル

仙台大炊頭殿ヘ為名代小池田源左衛門
長熙右近衛殿ヘ相勤中ル
右ヘ通ス山崎源太郎

二月廿三日　松平伊豫守

右二月十四日御親戚殿ヘ不届ニ付切腹仰付
被成旨被御ヘ生之仕出若妻子ヲ連
木中屋ヲ引払の仕様ヲ若中上ヲ以
越前守殿被仰渡ヲ外妻子ヲ以

後藤小弥太殿より川井中山侯へ上ル

覚

三月四日　　朝倉伝蔵

右三月四日御様子後藤平四郎江返上

一、八頭様方ハ唯今迄之上屋敷
場所柄之儀ハ御用之間差上申度
事柄ハ御ゝ

二月十八日　　西尾日水氏

対札

主殿ゟ先年之御用之儀
一、有馬法印

右三月十四日御様子後藤江返上

先年之御様子ハ城下御服ハ
以前之通男女共編子仕度旨書差出

為長崎表吳々紙勤方ニ付
仰付置候間右紙有之ニ付　仰出候
不日ニ和紙差出ス様ニ仕候ヘハ有之哉ニ
又ハ御府仕ニ付年々出候ハヽ
二月十一日

大藩侯ヘ

紙
不及御府役ニ付
右二月十六日右様ニ為取計ニ付
大藩ヘハ上ん元奥ヘ尽シ通

紙御用向人ヲ以御役ニ成候ハヽ
下ヲ通ス　仰出

御紙
書面ニ通り此度決定ニ成候ヘ
共ニ付今尚此上懸書ニ
相達ス為ニ成ハ上ニ成
作法ニ成候ハヽ
不及御府役ニ仕候様ニ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

公方様へ

御太刀　一腰

白紗綾　一巻

御馬代美濃二枚　一疋

[illegible]

御太刀　一腰

御馬代美濃二枚　一疋

[illegible]

[illegible]

三月十八日　池田玄蕃

[illegible]

[illegible]

一 元文二年二月同氏伝蔵書目録、一ヶ礼銀
被遣右之通可申略し

公方様へ
御左目　一腰
御馬代黄金二枚　一疋
右大御様へ
御太刀　一腰

一 御馬代銀二枚　一疋
右之通同姓伝蔵書目録之内礼物上ル者
被遣代金同様ニ上ル

三月十八日　池田主殿

覚
何も通て被遣ル

一 元文三年二月組之内同氏銀壱枚礼
申ス者ニ付出ス右之通可申略し

御藩中様へ

白加様

参校

大小通帯刀致し申礼申上ル筈

旧ニて仕候年月相分ル迄

二月十八日　　池田弁助

弁礼

同し通一ト筋仕ル

一　宝暦六子年分　加茂遠江守殿分ハ月

参会様御出被遊ル時ハ同礼ハ大小ニ例出ル

同氏伯耆守様へ出礼申上ル筈

御藩中様へ旧ニ成ル行ハ仕ル

二月十八日　　池田弁助

弁礼

右及差上ル

年中諸上物之

公方様ヘ
奉献
米沢
御方

一腰
一疋

御馬代銀壱枚

八朔

御方

一腰

御馬代銀壱枚

一疋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

池田玄蔵

六月十八日

九

[illegible]

一 天文三年二月同氏[illegible]日礼例出

[illegible]

公方様へ　一腰

御太刀

御馬代黄金一枚　一疋

左衛様へ　一腰

御太刀

御馬代銀一枚　一疋

大久保通用性法院殿様御礼之儀

被仰付候事

一月十八日　迎国名跡

分礼

同じく通て五位被仰付

一　元文二年二月祖父周防通次殿様御礼之儀

同出左衛通守殿様へ

御簾中様へ　一枚

白加弥

右之通書留シ申シ礼申上ル以前
被仰付候事相違仕間敷旨

三月十八日　　池田弁殿

対馬

何レ之通ニ相勤ル事ニ

一、宗伯之子九月加茂迄ニ同月ノ外月
大小保法後者書留シ申礼ニ長崎ニ到
出ル

同氏伝法者保法ノ通ニ相勤シ申礼申上ル以前
ニ芸藩ニ帰ル被仰付候ハヽ
事何ト申ス

三月十八日　　池田弁殿

対馬

不及長崎ニ相勤ル

年中御上掛之

公方様
大奥様
金一枚

御太刀　一腰

御馬代銀一枚　一疋

八朔

御太刀　一腰

御馬代銀一枚　一疋

九月

御惟子草履二足
平兵衛　浅草
紗綾山源右衛門

霜月

御小袖二つ
熨斗目山東甲斐守二ツ
紗綾山源右衛門

[illegible]

御小袖二、〆〆

厨子用に裏羽二重

紗綾小袖裏織物

四月系勤に礼之義

一腰

[illegible]方様へ

御太刀

白鞘

三巻

御馬代銀次

一疋

大内様へ

御太刀

一腰

御馬代白銀三十両

一疋

生絹使之匹礼之義

公方様

[illegible]様へ

一箱

[illegible]

[illegible]通同姓伝書[illegible]上仕来に[illegible]成
[illegible]書社　伝[illegible]書[illegible]通[illegible]
左[illegible]

二月十八日　池田長[illegible]

[illegible]

[illegible]時[illegible]通[illegible]

[illegible]

白根一枚元

日[illegible]

松[illegible]藩
岩[illegible]藩
[illegible]尾藩
さ[illegible]藩
瀬[illegible]藩

金壱百疋宛

御表使
蜂屋殿
蜂田殿
沢田殿
戸川殿
政井殿

一、上ゟ通路御書ニ而礼申上長谷川遣ス

一、礼ハ長谷川ゟ通ス

一月十八日　池田伝兵

一、元文三年二月同氏位階昇進礼ニ長谷川遣ス

御物ハ例書出ス

右之通二月十八日相撰書取ニ付礼調申上ス

公方様ゟ

千鶴

一、

大内掃部

一銀

一若

右之通ニ被成下候ハヽ

被仰渡之儀ニ付ハ

二月十八日

為大和守

[illegible]

[illegible]

右之通ニ被成下候ハヽ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月十九日

松平筑後守

右之通ニ被成下候ハヽ

[illegible]

以上

松平伊豆守殿御書簡被到拝見仕候
扨一向用義無之候ハヽ
尚之中ニ
紙ニ通ス　仕出候有之候ハヽ
心配ニ付出府仕候ハヽ
て義ハ
ニ仕候ハヽ
以上

細川越前守殿

二月十二日

尤　月十九日ニ拝受不日仕返上

私実母儀ニ不構別ニ
以ハ
内ニ
於
二月廿一日

松平伊豆守殿

対札

てゝ為ゝ通ゝ候井上河内守ゝ

て申渡候

右之通廿一日御様書御殿式ゝ分札御附日上ゝ

一 宝暦七丑七月松平伊勢守大坂城番ゝ被

蒙仰ゝ御書添出ゝ

元

一 松平伊勢守ゝ二條ゝ殿ゝ仕ゝ

御ゝ年書并ゝ金子等ゝ差ゝ遣ゝ

ゝ滅亡ゝ後ゝ始ゝ末ゝ

三月廿一日

松平伊勢守

加納大和守

対札

来ゝ廿六日

御暇ゝ下ゝ被ゝ

国立公文書館
National Archives of Japan

右之通相違無之候ハヽ
為後日之証文如件

敬之丞

公方様へ
御太刀　一腰
御馬代銀一枚　一疋
右入用様へ
御入刀　一腰

御馬代銀一枚　一疋
右之通相違無之候ハヽ
為後日之証文如件

三月廿四日　有馬伊勢守

分九
何も通ニ相違無之
右三月廿四日有馬伊勢守分九御帰国之

公方様ゟ

御太刀　一腰

御馬代白銀拾両　一疋

太閤様ゟ

御太刀　一腰

御馬代白銀拾両　一疋

右之通私ども役儀ゟ御礼申上ル義

被仰付候上

一月廿六日　小姓ゟ作者

御礼

何ゟ通ル有之候ハヽ

右之月廿四日御様ゟ御下ケ御礼御用ニ付

一　元文四未四月朔日　公方様御婚礼御祝儀ニ付御使者

出ス

紀伊殿より

水戸丹後守殿迄之紀行之巻之節

然共文面之儀

公二而御覧

右大臣様

御同見之仕候旨被仰渡匹面之儀

預入之候

例

六ヶ保之子年迄之丹後守紀行之

之巻之一仕候

有徳院様

御同見之

作者時服羽織之被仕

一宝暦之子年久世丹後守紀行巻之節

公方様　右大臣様

御同見之　作者巻物之被仕

水野丹後守親兵衛為成大夷院殿供ニ
紙引ト所用ニ付一同ニ
御下ニ見仕ル自分ニ紀見ト所用仕候
ニ而所ル
ハ書付ニ而所持ス

尾張屋ヨリ

竹腰山城守成人世嫡ニ逆命ニ付ス
公儀当地ニ出ル下ル生ス様ニ通
ル所ニ存ス

公方様　本大名様御ト絶目ニ而礼ヲ
被ニ為仕ル花ニ成ル様ニ
尾張殿ヨリ出ル

三月

九

絶因し申礼申上候

公方様ゟ

御太刀金馬代

巻物ゟ

右大内様ゟ

御太刀金馬代

右之通被仰付成合申上候

右廣門二日分れ御暇被仰付

同

右之永三戌月廿八日絶因之申礼申上

公方様ゟ御太刀金馬代時服ゟ

大納言様ゟ御太刀金馬代被仰付

尚山城守殿

竹腰氏部

尚山城守殿

竹腰左京

一天保六年三月廿八日絶国し仕礼申上
公方様ゟ御太刀金馬代拝服ゟ被仰付
南部人四郎
成瀬隼人正殿

右享保十七子八月廿八日絶国之仕礼申上
公方様ゟ御太刀金馬代巻物
大御所様ゟ御太刀金馬代被仰付
右ハ巻之御免中ゟ正切紙ニ而

仰付出

三月

成仕

右享保元酉三月廿八日ゟ相勤候ニ付

元

奉行所

一内記儀遠池御門脇下ニ而初九日裏ニ而
西丸ゟ上意申渡

一御城門番人之連中度事

一御城敷之内狩猟等為御中度事

一御庭番之内之度事

右之外見写之　作者出之先例之

事何分之

三月廿日　林大学頭

舟丸

先御ゝ之通ゝ

右辰三月廿日作者出之　六月朔日

四月　寸志ゝ

公方様ゝ

分銅

大久保様ゝ

白銀

二巻

右ゝ之通私様御ゝ出之品ゝ

二十両

下仕候ハ可仕候ハ、

二月廿六日　　松平左兵衛

千丸

何し通て有之候上

右書付相渡ス筋茂不二有之一候ハ、千丸相上ル

一　寛永四ヶ年十月廿日　細川忠興妹婿山内対馬守

煙草相渡ス間敷ハ

公方様ヘ

紗綾　　二巻

正宗様ヘ

白銀　　三枚

右松浦烟ニ山礼ヲ以て長崎ニ下仕候ハ

ヽ何ハ

二月廿六日　　毛利高慶ヲ

千丸

何し通て有之候上

享保十一年九月智父嘉兵衛代桑十遣ハ百ち
燈籠ニ付礼例書出
左書、寸胴四分九厘五毛ハ百匁ト上ル

尾張藩ち

三月朔日より浜、施歩初ハ分尾張藩
ハ嘉兵衛桑十遣ハ百匁 但嘉ハ
ハ〆ニ付第一ハ合ハ嘉ハ

京都ニ

三月廿九日

分礼

為ハ通ハ嘉ハ根ハ下ハ

尾張藩ち

尾張藩
市兵衛殿

紀伊殿より

織田伊勢守殿へ御使者被遣

御ゝ之通被仰渡候ハ

勢州田丸城

松平中務大輔

四郎左衛門殿

同時殿中へ出仕之諸侯

勢州

御ゝ之通被仰渡候ハ

水戸殿より

水戸殿小石川御邸

松平大学頭殿同播磨守殿同大炊頭殿

御ゝ之通被仰渡候ハ

[illegible]

但天学民俗ハ長崎表ニ於ても
自ずから播磨表ニ於ても
為ずから大旅民俗長崎表ニ於ても
高田下総ニ於ても為ずから

[illegible]
[illegible]

右之通四月廿日九鬼[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

四月二日

[illegible]
小出伊左衛門

付札
　下為形之通ニ

私儀去冬より積氣強差発難儀仕候ニ付
武田長生院調薬相用兼枕屋之
相談致候処者服之候方得与宜敷
薬服之不仕其上不出来ニ存候ニ付而
難儀仕候儀ニ付下宿之上養生仕度候ニ付
乍恐右長生院旅宿ゟ罷越候之
上御病気候ニ付彼是下宿仕度候
此段御聞済被成下候様奉願上候以上

　四月二日
　　　　　　松平筑後守

付札
　下為形之通ニ

右四月二日右京亮を以附札相渡之

御加増之御礼申上ル長

公方様ヘ

御太刀　一腰

御馬代黄金　三枚

紗綾　二巻

左京様ヘ

御太刀　一腰

御馬代黄金　三枚

御山廉様ヘ

白銀　三枚

右之通之儀御上ヘ御下ル申上

月三日　堀田相模守

乳

何之通ニ有御上ル

御加増之御礼申上ル長

浪花校元

同元校元

右之通御傳達申上候

四月二日

外九

同人

右奥之支藩江戸一帰日行札調上ル

南部九

元女元

同人

表使

右之通御傳達申上候

四月二日

外九

同人

右奥之支藩江戸一帰日行札調上ル

松平筑前守

表使

右之通御傳達申上候

四月二日

外九

花九

右奥之支藩江戸一帰日行札調上ル

国立公文書館
National Archives of Japan

私娘之義左通相違候間吉盤以外
以代参ノ礼申上候
公方様ヘ　　巻
御紗
大奥様ヘ
白銀　　巻
右之通被仰付候ハヽ何分之
四月三日　　松平筑前守

分礼
何ヽ通ヲ有御上
右分礼調月番ヲ以奉変蔵上
寛延三年九月廿二日　黒田甲斐守
筑前守吉娘　吉盤ヲ以代参ノ礼申上
之娘筑前守ヲ以国元ヘ帰仕ル上
右御中ヘ奉礼ノ上

竹上

四月三日

右之通変換致シ候ニ付

松平筑前守家来
永田[illegible]

私儀拝礼出勤仕候ハヽ

公方様ヶ

縮緬

右之通御ヶ

以上

源子

右之通被仰付候ハヽ

四月三日

[illegible]

右拝礼

何し通之有様之

右拝礼調四月四日右之通変換仕候

例

一 延享四辰年正月松平伊豫守殿
松平筑前守殿根岸肥後守殿
伊豫守殿右之礼第上ル
公方様ヘ
縮緬 壱巻
大納言様ヘ
白銀 四枚

一 宝暦六子年八月松平阿波守殿
立花左近将監殿右之通
右之礼同断
公方様ヘ
縮緬 壱巻
大納言様ヘ
白銀 四枚
右之通西丸へ上ル
巳月二日
立花左近将監
[illegible]

[illegible]

紀伊國

紀伊國玉津島社

禁裏御所用[illegible]

神[illegible]

先達而右国二位殿[illegible]

神[illegible]

禁裏[illegible]

玉津島社[illegible]

延宝元年[illegible]

[illegible]

御年[illegible]

[illegible]

國[illegible]

紀伊殿より

今般江

禁裏紀州玉藻酒江戸納相成こしの分

紀州より御為替上方表一度又

先例長崎表の分

禁裏江御上納相成候

下方江戸江相廻金銀之分

右書付御通り月日右京亮不覚江不書遣上

地方居合役并下役共こゝ為例年こゝ

撰紀州者右為役下の御為方之分

山方の分之

四月二日

松平右京亮

分九

下為勝手法共

右月二日右京亮支配江下ル先例日見組江も

国立公文書館
National Archives of Japan

今度当地出張仕候ハ、

於日光山

御宮参詣仕度事願ハ

四月廿日

内藤丹波守

松平伯耆守

覚

一 下馬先ニ通ル

今度於日光山出張日

御名代ヲ以参詣勤番出張ニ通

大名ハ用ヲ以ハ

一 御名代相勤ハ

御宮 御霊屋ヲ自分拝礼仕度

事歟

右之通事伺ハ

国立公文書館
National Archives of Japan

四月廿日

久世出雲守

分札

一筆先極て通ル

来十六日家許発足仕候間十九日

日出九ツ半時

御名代右勤ル三日両府様ニ先極て居ル

世話ヲ通ル中ハ代官同伴ル

四月廿日

久世出雲守

分札

一筆先極て通ル

右之通四月廿日分札御右筆変敷ヶ上ル

以後私母方ニ於て年私右筆ヲ智仕

日光御帰使市勤中ハ来ル十九日

御当地ヲ発ル私方ニ立寄ル夜中

戌の御〆形帳中ニ後日取調可申旨

四月廿日　　之枝御中書

右御渡申候間

美

公方様ニ

御右刀

御馬代　黄金十枚

紬縮緬五巻

右大御様ニ

御太刀

御馬代　黄金十枚

縮緬二巻

御簾中様ニ

縮緬二巻

丁銀一貫

右之通表向ニ被仰付候ハヽ
必
月
分札
何之通無之候歟上ニ
松平伯耆守
元
公方様ニ

二枝一茎
左ハ右様
一枝一茎
御仏殿中様ニ
一枝一茎
右之通表向ニ被仰付ハヽ以女使右之方ニ
無之候歟何ニ
必
月
松平伯耆守

分札

何〻通て為致候

御城女中ゟ渡候

公方様ゟ附

白張二枚元

同二枚元

右之通

清元女中

清元表使

御国見やうゟ出候ゟ後

出張相何やうに出候

以上

月

松平伯耆守

分札

何〻通ゟ為致候

元

公方様ゟ

御右刀
御馬代銀子壱枚　　物頭　工
紗綾　二巻　　大多賀門
同断　　長谷遠江助
同断　　酒井与三左衛門
同断
同断
御右刀
御馬代銀子壱枚　　物頭　茂十郎

同断
同断
同断
大多賀様
御右刀
御馬代銀子
二枚
同断

稲葉波門
松田主水
明石縫殿　　物頭　工
大多賀門

同断

同断

御左右

御馬代銀子一枚

同断

同断

同断

右之通被成

長敬遠酒肴

酒肴之儀第一

伯義十郎

稲葉淡門

松田主水

鳥居伯耆

御国目付被遣

以後右御申付之

四月

寄札

一ヶ月何しら通ル

松平伯耆

今般拙者儀初而表向より拝光

城　御国目付命上り被

公方様　左右様

御簾中様ハ表向年頭ニ御礼ニ
別紙之通被仰上候上、夜半ニ御出
表向中ハ御上

四月

右礼
左右様ハ通ル

松平伯耆守

例

一　宝暦四亥三月十四日　松平　義孝
初ル　御目見ニ表ニ被上相成ル
御上ニ相成ル　年寄相勤ル
御目見ニ表ニ被上ル　例書之通
添出ス

右月六日左京亮文淑年頃ニ分礼調上ル

私儀御役儀ニ付山孔御上ゲ
公方様ヘ
御左刀
御馬代銀子枚
右之為様ヘ
同断
御巡廻中様ヘ
白銀子枚

右之通差上ニ付山孔御上ゲ
四月
九日
何之通ニ差上ゲ
黒ノ御孔御上ゲ
公方様
御太刀

御馬代金壱枚
紗綾 二巻
右為御礼
御太刀
御馬代金壱枚
御笠懸御礼
白銀壱枚
右之通被仰付之

四月
分礼
何之通被仰付之
御役成共四郎之儀
白銀壱枚宛
金壱百疋宛
右之通被仰付之

板倉伯耆守

御年寄
元女元
表使元

月

板倉伯耆

分れ

何〻通て之報ハ

右月六日大坂発之文殿より分れ洞八日ニ

拙者儀ハ 仰付ハ分無様

拙者儀ハ 仕度事ハ

月

板倉伯耆

分れ

先御役〻ハ無之ハ

右廿九日大坂発之文殿より分れ洞八日ニ

子年如雲ハ殿〻ハ

海ハ

奥ハ

先生ハ上ハ通ハ

拙者儀ハ

不法山寺系勤ニ付少礼教上有之候ハ
可被申聞候之

正月七日　　之元智雲

分れ

系勤系少礼有ニ付　当日
仏使方ニ有教上ハ之
中御

同文公
藤昭軍

分れ
同断

同文公
先生為山庵中上ル通廟京未願与答応

分れ
同断

織田信雲

右之通長門八日右京亮殿より申付候間申ん

繁光院様江一周忌法事江九戒ニ付

尾張殿宰相殿より勤不申候間

宝暦四戌年

春光院様江一周忌江九戒法事ニ付

尾張殿宰相殿より勤ニ成候間て成ハ

及断可被申上旨申渡候間右様ニ申上候

勤不申候ニ付成ハ度勤不申候間

世話及申渡候旨申上候

四月

右四月八日右京亮殿より留仕返上

私儀ハ八日ニ京府仕ニ付ハ使者

中上ル通被渡中腰差掛今日

相勤不申ハ付未日九成義ニ付申上ル

過ぐ出勤て仕時迄仕候様ニ系勤仕候
様ニ相心得可仕候事

四月九日　　桐島源左衛門

分札

系勤ニ付礼ヲ以て当日出仕致ス
ニ付有数之以前日之出申候ハ
右春四月九日右系之殿ヲ下分札相届申上ル

尾張

竹腰山城守様
公方様　右ハ公方様ヲ手中御之相ニ成
父山城守通数之法ニ依て致度ニ
尾張殿ヲ以之

四月

分札

父山城守ニ成ニ付て之ヲ以て上ル

竹腰山城守殿
右御礼ニ被遣之
一 年玉　左府ヘ為御礼遣之　金子銀一枚
一 昆布　氷砂糖一捲
一 煎茶　緞子一巻

一 歳暮　金銀一枚
右ハ外
御受申等之分無之通被仰上
仕候
　　以上
　　月
右月二日左京亮殿江下ス十二日分礼状ニ

秋成去七日糸府仕候義中上候通
持病ニ而府病今日勝不申候
出勤仕候時ニ日病候ハヽ糸勤申候
事無之候延引ニ成候ハヽ銘々意ニ成
ハヽ仕候ハヽ山脇年内ハ
四月十日　秋月左源太
対馬
糸勤申候ハヽ礼有之尚日ハ後者
不申候ハヽ
近々出勤致候ハヽ糸義ハ勝不申
歌よ持ハヽ仕候ハヽ糸勤ニ申礼
四月　毛利内匠
対馬
同断

辰閏月十日太政官達第弐拾九号別紙御所目上ル

一　四月十日大雲出雲国地ニ付上総国

実隅郡勝浦陣屋ニ相新ニ成有之ニ委細

雑留有之

尾張殿より

尾張殿長女御組ニ　仮生所

公方様

下総様

御簾中様より尾張殿へ被上物之儀

出行ニ付致式之儀新ニ被仰

四月

弁ル

公方様へ

二枝一箱

大炊様へ

国立公文書館
National Archives of Japan

一 桜一本

御茶屋中郷と

一 桜

右之通被仰付候ハ、

右書付写月十日右京亮殿ヘ出ル同十二日御〻ヘ

渡ス御書付ハ写ハ出ス

上ル

例

諸〻尾張殿息女御縁組ニ

付 作出シ候

同〻上洛ニ付出ス

公方様ヘ二桜一本

右大臣様ヘ一桜一本此度右ニ付御下ル

一 宝暦七丑年尾張殿息女御縁組ニ

付出シ候同〻上洛ニ付出ス

御茶屋中郷ヘ桜一箱者一桜ニ付出ス

丹羽長秀

私儀糸府ニ長居仕候而通行難
成候間今日出府不仕候ハ、出勤延
引仕候ハ、糸勤ニ而御礼被成下
一度ハ年内ハ出勤仕ル

四月十一日

分れ

糸勤ニ而礼ハ当日ハ使ヲ

丹羽長秀

一ハ有馬ニ出ル前日ニ出ル

右長ハ四月十二日右ハ変ハ不分礼ハ明日ニ

私儀糸府ニ長居ル腰会熱ニ而生ル変
ハ不出勝延ニ出勤可仕候ハ、当日ハ
糸勤ニ而礼被成下ハ仕ル
無延年内ハ出

四月十三日

松平安藝守

附札
参勤御礼有之、当日以後先ニ可致献上候
先前日ニ而可申哉ニ候

右辰四月十三日右京亮殿江下ケ附札御渡同日上ル

私儀去夏家督被仰付候以後、初而参上仕候間
候ニ付、御府中御拝領之品十月之時分参府候
可有之候方は如何ニ候哉出来不申候ニ付

候所候ハヽ遣候而は如何ニ御座候哉、為御探可被下候
下ケ札ニ而被仰付候而は可然旨武田
長門守殿御申聞之候ニ付、如此御座候
右之段申上候以上
四月十三日
内藤紀伊守

附札
可為伺之通候

右書付四月十三日右京亮殿ゟ附札御渡ニ上ル

[illegible]

勤向ニ付ケ遠ク西京ニ[illegible]

四月十一日　　西尾主水正

分社

同ク通ラルベク

右ハ京摂ニ付十四日分社御上ル

以上

[illegible]

持病ノ下血脱肛ハ[illegible]

通日出勤[illegible]

[illegible]

四月十四日　　建部丹波守

分社

四月十四日[illegible]

右辰四月十四日右京亮殿江下 弁礼御帰国之

私儀結構ニ 作弁ハ弁日光

御宮ヶ侍者ヲ小御方御馬代銀上

下仕ル代金同ハ上

四月

弁礼

下為御ヶ通ル

板倉作州殿

松平結構ニ 作弁ハ弁

御簾中様ヶ暑氣ニ付下仕ル

年例ハ上

四月

弁礼

黒木中

菅形 一荷

亀ヶ中

朝一形

板倉作州殿

右し通てゝ

右辰四月十二日右条文脱ヶ所有れ共

奥ヶ所の出るゆへ上ゆ如奥ヶ出ゝ

不及名主作成

紀伊脱り

今度

徳裏右今市御授ゆ為渡ゆ所

紀州出津浦社御年貢物出ゆ所

樫裏ヶ浦紀伊脱勤ゝ脱ヶ物ゆ

ゝ文脱ゆ色ゆ長崎入ゆ脱ゆ

有れ

先例ゝ通ゆ脱ゆ

右条有通尺書有之ゆ辰四月右条文脱ゆ不申無月

十六日奥ヶ出下ル十九日有れ共右条文脱ヶ上ん

紀伊殿より

今度
禁裏方々御修理被為遂候ニ付
御年賀被為在候ニ付
國許より申越候ニ付
例
天和三亥年

禁裏方々御修理被為遂候ニ付
御年賀被為在候ニ付
禁裏へ
三献 二献
右献紙献
新院へ
右同断
右之通被為在候哉

一　延享元子年

禁裏女房衆御法度書並諸社
御寺領御法度書之通ニ
禁裏ト
三條二位殿
高野紙屋家
右之通公使方ヲ以被仰渡
次ニ記

禁裏並諸社ト寺領御法度之儀
女院　女御殿ニ之儀ハ
何ニ成ても相見不申候哉
御所方ト敬上ハ成不申候
公方様ト
御太刀御馬代銀

秋元玄蕃

寺校

巻物　　五枚

右衛門様ゟ

御左刀御馬代銀　　五枚

御藁中様ゟ

白小袖　　二領

右之通差上申候

公方様ゟ

綿　　二十把

右衛門様ゟ

白銀　　五枚

将軍御目見之　　作法之儀右之通

差上申候

四月廿一日

秋元但馬守

公方様　右大将様ゟ八何之通

申上候之由

御藩中様ゟ歌上ゟ不及

右長崎月番札相奈支殿ゟ上

年大雨之節之

松浦一九公ゟ番船ゟ 作行

御城中西ゟ南番所ゟ繰出ゟ

年角い出

十月廿一日

年多年物大痛

右月廿二日右奈支殿ゟ年九郎目通上

目付ゟ上ゟ作事ゟ出ゟ

出候様ゟ名目付札ゟ下

公方様ゟ

紗綾

右大将様ゟ

白縮

二巻

二十両

右之通私儀御用向ニ付上方表
被差遣候ニ付御礼申上候
四月廿三日　　堀大和守
分部
何之通ニ被成下
右四月廿四日分部何右衛門殿ニ
被成下

光

公方様ヘ
御太刀　一腰
砂糖　二巻
御馬代黄金二十両　一疋
右大御様ヘ
御太刀　一腰
御馬代黄金二十両　一疋
御茶屋中様ヘ

白加茶　　三枚

右之通拵置之申候以上

寅十月　　有馬内匠

外九

何も通て乾上有

例

寛文六午年六月新酒并肴拵置申候ハ

例寛文九酉年六月十日長又兵衛少様御拵之儀

中上の名ハ例出

白銀一枚元　　只

松浦源

岩橋源

浦尾源

小枝源

頭山源

今書之元

右之通私事御心中上仕候
未御下ル歟年間仕候

蜂屋殿
蜂田殿
沢田殿
戸川殿
政野殿
筏野殿

四月廿三日

乃馬岩吉

御書
右同断

御心中上仕候
御通ヲ以ヲ相伺仕

例書
右同断

私儀御暇之儀御心中上仕候
西尾大奥江女中ヲ御相之儀
不仕候年間仕候上

四月廿三日　　乗馬考古

不及猶拘い

例書
右同断

年中張上有〻見

公方様
右奉様ト

年代
御左刀　一腰
御馬代白銀十枚　一疋

駕籠
御帷子麻紋附浅黄
御草履御紋附黒漆塗　一
一

鞍
御太刀　一腰
御馬代白銀十枚　一疋

文陽

一 御小袖 御紋付 白麻斗目 御紋付 花色練絹 二

十月

一 耳嵐 一疋

歳暮

一 御小袖 御紋付 御麻斗目 御紋付 黒紬裏 二

右之通長次郎方へ渡ス

御勘定 沢村岩之丞殿へ渡ス

右代金内ハ

廿日

養父河内へ渡ス

乃馬蒙古

元

東叡山

有徳院様 御霊前へ

年代

御太刀

御馬代白銀十両

一腰

一疋

金中

一御燈籠　一基

右之通養父武兵衛殿上法名仙秋
御寄付　仙寿院殿上法名仙
生前仙

八月廿三日　有馬喜左

養父母へ通らくゝ

仙秋殿　御仕置長行ゝ帰ゝ
為又養父武兵衛殿中ゟ出
之通ゝ長ゝ年間仙

八月廿三日　有馬喜左

寿丸

養父母へ通らくゝ

右不孫寿丸個廿六首右之事文殿上ゝ

公方様へ

御太刀馬代白銀五枚

左右様へ

御太刀馬代白銀五枚

私儀御理髪今度初ル

御目見仕ル者共へ通被仰上ヶ候様

奉伺ル私共先例初ル

御目見仕ル者共へ通被仰上候様仕

右之趣上ル

月日

右馬頭殿

付札

公方様へ

紗綾二疋

左右様へ

公方様へ

紗綾二疋

左右様へ

白銀二枚

右之通拝領仕候間之上
下賜之段何分之上

四月廿四日　　小出信濃守

封札

何〻通ゟ差上候

右四月廿四日右京亮殿ゟ上ル

私儀例年四月ゟ参勤月日順月次ゟ新之書付仕候而今年ゟ
左府仕候ゟ之分
公方様
右之通様ゟ今月廿四日ゟ拝領之一枝ゟ
新之仕度奉願候旨被蒙
仰候ハヽ
四月廿日　　松平河内守

一

寛延四未年日光山普請ニ付左府ヶ変
四月数之何ハ不及其之例宝暦七丑年
前年ヶ四月糸府七年ヶ七ヶ年左府ヶ知
四月数之何ハ如何ヶ通可有数之旨達
ヶ之ハ例書出ス

外札

何ヶ通ヶ百数之ハ

二巻

公方様ヶ

紗綾

右大将様ヶ

白銀

二十両

私娘婚姻ヶ付沙汰之事之ハ若ヶ通
数之ハ代年何ハ

四月廿八日

外札

何ヶ通ヶ百数之ハ

大井伊豫守

右分札酒井六百上ル

私儀今河内国右京亮雅楽村領札者ニ付
延享三寅年ゟ寅年迄ゟ領札通用
右源内山可右衛門ゟ五年年ゟ
然又於ゟ年札者江戸ニ於ル
出

四月晦日

河内殿

分札

五年年ゟ申年迄年ゟ年領札者ニ付
右書付ハ本文殿ゟ西ル右様出る殿ゟ書付ハ
但勘定吟味書添ハ同ハ右本文殿ゟ出家

但勘定吟味書

右分酒井
小野右衛
右坂ゟ一ル

為月番ニ被仰渡ニ付ハ石川美濃
ハ今ハ同国古市郡雄甲村銀札
銀書并添書一覧仕ル処来ル午年ヨリ
然又拾ヶ年銀札を仕度旨上ル
旨体仕ル処延享四卯年ヨリ来ル巳年迄
拾ヶ年ニ極リ差障ニ付ハ
ハ新定ニ同書ニ記ス有ル添書ニ通
相遠ニ付ハ新規ニ被仰渡ニ付

ニ付書面ニ通延享四卯年銀札
通用仕来ル旨ニ付ハ来ル午年ヨリ
相外ニ銀札ニ仕ル 作付類例と
ハ差ル旨差障ニ付ハ
拾ヶ年ニ極リ銀札ニ仕ル 作渡ス
年ニ付ハ渡ス書付ハ
辰
月

私養女渡辺半蔵娘相続願ひ差出候ニ付
御礼申上候事無之旨申渡候事

四月廿四日

外礼

御礼申上不及

中多舟藩

私儀病気ニ付帰府致し候ハヽ養女
婿願ハヽ御礼ハ代参ニ上候事無之

養女婿願ハヽ御礼代参
中多門脇
中多舟藩

四月廿四日

例

宝暦八寅年永井近江守様ニ荒川藩ニ
婿願ハ無之ハヽ家ハヽ長太郎ニ上候
十一月廿一日ニ用番酒井左衛門尉様ニ御

小笠原維濃守殿より差出候処相違無
之旨連名を以書付を以申渡候
不及申上候間此段御届申上候
但渡辺甲斐守殿へ申上候
以上

月廿四日　　平野丹後守

右之通去廿日御組之内ヶ条法之
旨之

相成相違之儀ハ無之旨申渡候
疾疾不相勝芳澤出来不出来
勢丈気候為養生帰郷致度
下総国醫師平左衛門病気
中受ハ伝ハ為養生帰郷一類共方ヶ
歩行仕候中度事預ハ上
月廿六日　　寺社奉行　少庶長豊前守
乗礼
一為形之通ハ

一 御門渡し事

一 御賄渡し事

一 品川御院交し事

右之通申上之旨仰付

閏廿六日

小堀左馬

酒井雅楽頭

寅十九

明廿七日門渡有之御院交し仰付

右書付辰閏廿日仰付候旨被申聞候

細左 閏同月廿九日

永新

寅

一 今日長新荒番役大目番代仰付

御中御門渡し 仰付

御賄渡し事

仰付

国立公文書館
National Archives of Japan

一、当番年寄九月朔日ヨリ出勤仕
一、市蔵上ル市郎兵衛文金沙汰ニ付年番使ヲ以
左之通年限ヲ以仕上

九月廿六日

年番
松平長門守

年寄
明石左近将監殿
左衛門佐殿
右之通ニ付年番年寄年番使ヲ以御使ヲ以御使ヲ以
御使ヲ以

社領二百石ヲ以ス
場所ニ付年番使ヲ以
御年ヲ以ス
二百石ヲ以ス
年限ヲ以ス
酒井雅楽頭殿
仕上ル

九月廿二日

年寄

分九

諸不見分ニ不及ル

人殺ス出張ノ為ニ通ル

右分九個廿六日太宰府変動ヨリ

大島生雲雷丸中村周次郎義之

一命ヲ賜フ同日福岡氏兵庫県中学ル舟

中之山ノ

月廿六日　大島戦争

太宰府太宰変動ヲ不義之不及名山接投

戦争面白ク出張ス伝聖軍出張之

戦況一義　文　増見ニ解釈ス

太宰府通義之中ニ原田ヲ白

山花柳義戦中ノ明報義之ヲ中ノ分軍同ル

月廿六日　松平周防守

廿七日大名家臣以下屋敷書遣

右之通何〻通名出候様被仰渡

公方様

御太刀金馬代

綿　二十把

大名様

御太刀金馬代

綿　二十把

右之通被仰渡候段承知仕候

御上使ニ付御出掛ニ付御断

四月廿六日

名札

何〻通ニ付致上申

先例并兼〻書付

松平源左衛門

元文年十二月中旬相渡ス一反ニ
付伊大膳殿
中上ル長

公方様ヘ御左日令馬代綿二拾把
爾公様ヘ御左日令馬代綿二十把
御上使ニ付而被下候

一延享元寅年四月松平相模守殿ヘ
中上ル同様御上使

一先ヘ獵場高保元申年ヘ十月中旬
相渡ス中上ル長

公方様ヘ御左日令馬代小袖十御上使
ニ付

四月廿六日　松平豫後守

新中納言殿ヘ御左日令馬代中上ル長
御簾中様ヘ御上使ニ付而令馬代出度ニ付

御上下仕候此度差遣申上候

四月廿六日　　松平[illegible]

付札

白銀四枚上下差上ル

元

一銀弐枚　元

一同一枚　元

御中尾

[illegible]年寄　安中元

同

[illegible]　侯元

差遣和中[illegible]

[illegible]

四月廿六日　　松平[illegible]

付札

[illegible]

[illegible]

元

[illegible]

公方様へ
御太刀
綿
小鷹代
大谷様へ
御太刀
綿
御馬代

一腰
二十把
英金十両

一腰
二十把
金百一両

[illegible]遍[illegible]仕候[illegible]

[illegible]上[illegible]仕候[illegible]

四月廿七日

松平肥後守

[illegible]遍[illegible]仕候

[illegible]

御藤中様へ[illegible]上[illegible]仕候[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan